

脱炭素化に向けた設備・機器選定や設計に携わっているご関係者様へ

環境省LD-Tech認証製品一覧 活用方法のご紹介

オフィス

脱炭素という観点で高性能の設備・機器を探す必要がある

納期に間に合うよう、メーカー担当者との円滑なやり取りが必要

コスト面でメリットがなければ、いくら高性能な脱炭素設備・機器でも施主は導入しないだろう

施主
オフィスビルの脱炭素化実現のために高効率設備・機器を導入したい

設備・機器選定や設計のご担当者

ニーズに答えるためには、どのような点を考慮すべきか…



脱炭素化の観点で優れた製品の選定に環境省LD-Tech認証製品一覧が役立ちます!

例えば、設備・機器の選定に向けた情報収集においては、以下のメリットが存在します

問題点

脱炭素性能についての調査時間及び人材を十分に確保できていない

1 国内最高水準の脱炭素性能を有する設備・機器の情報が素早くアクセス可能

活用効果

脱炭素性能において、最高性能を有する設備・機器の情報が一覧化されているため、専門知識がない方でも、設備・機器の情報が素早く辿り着けます

問題点

メーカーごとに製品情報をそれぞれ収集する必要があり、多大な手間を要する

2 複数メーカーの製品比較を効率的に実施可能

活用効果

複数メーカーの製品情報や問合せ先が一覧化されているため、設備・機器の検討・選定をより円滑に実施できます

問題点

導入先の環境に最適な条件や能力を有する高効率設備・機器が不明である

3 施主のニーズに即した製品検索が容易

活用効果

条件や能力別に製品を整理しているため、導入先の容量やその他条件(例:寒冷地仕様)に最適な組合せの設備・機器の検討が容易になります

環境省LD-Tech認証製品一覧に記載されている内容の確認方法はこちら

環境省LD-Tech認証製品の導入メリットの詳細は裏面へ

環境省LD-Tech認証製品一覧は環境省HPから閲覧可能です

環境省LD-Tech認証製品一覧

検索

製品が有する性能情報
製品の基礎情報やメーカー問合せ先

・団体名(製造社名)
・製品名
・型番
・製品の特徴
・問合せ先(部署名/担当者名/電話番号/メールアドレス/公式URL)

施主のニーズに見合った設備・機器の目星が素早くついた!

導入先の条件や能力に最適な設備・機器を特定できた!

メーカーへの問合せが容易になった!

設備・機器選定や設計のご担当者

実際に環境省LD-Tech認証製品を導入することで、更なるメリットが期待できます

特に…

**CO₂削減効果が高いため
投資対効果も大きい**

という点がメリット!

環境省LD-Tech認証製品は、国内最高水準の脱炭素性能を有しており、エネルギー消費量の削減、すなわち光熱費などのランニングコストの削減につながるから、従来製品以上の投資対効果を期待できます。



設備・機器選定や設計のご担当者

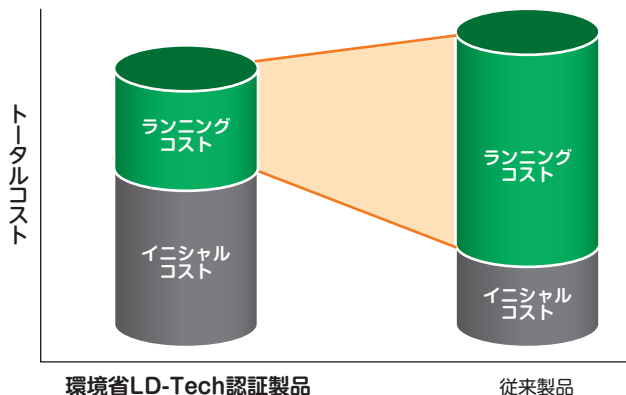
最高性能を有する製品は、インシヤルコストが高いイメージがあり、十分な投資対効果を期待できないのでは?



解説者

確かに認証製品の一部は、最高性能を有しているため、インシヤルコストが高額になる傾向にあります。ただし、認証製品の導入により、十分なランニングコストの抑制につながると思われることから、トータルでコストメリットが生じるケースが存在します。

インシヤルコストの差分は、
ランニングコストの差分で回収可能!



CO₂排出量の大幅な削減にも貢献

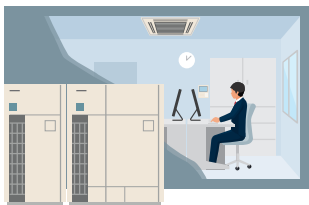
環境省LD-Tech認証製品は、毎年更新されるLD-Tech水準に適した製品のみが掲載されるため、一定のCO₂削減効果が期待されます。

対外的な発信力も向上

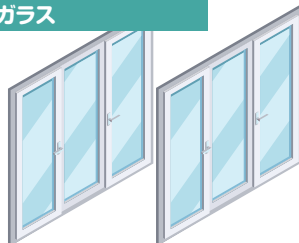
公式ホームページやSNSを通じ、国が認めた最高水準の製品を導入するといった先進的な脱炭素化の取組を実行していることを、対外的にアピールすることができます。

既に各種公共建築物にて、環境省LD-Tech認証を受けた設備・機器が数多く導入されています

パッケージエアコン



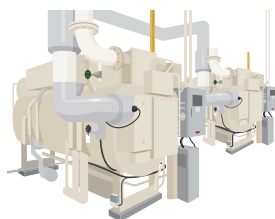
窓ガラス



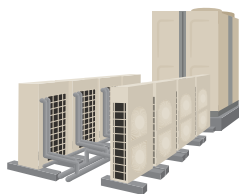
BEMS



吸収冷温水機



ヒートポンプ給湯機



空冷ヒートポンプチラー

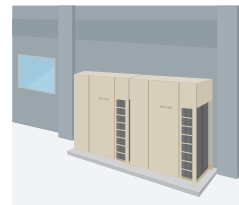


図:環境省事業等を通じて導入された設備・機器の一例(環境省LD-Tech認証制度における認証対象の一部)

環境省LD-Tech

検索

認証製品一覧をはじめ、環境省LD-Tech認証制度の詳細は、環境省WEBサイトをご覧ください。

こちらもチェック 「脱炭素ポータル」

脱炭素社会の実現に向けた、国の取組、トピックス、新着ニュースや関連サイトを発信しています。
https://ondankataisaku.env.go.jp/carbon_neutral/

本件の問い合わせ先

2022年度環境省LD-Tech制度運営事務局
(デロイト トーマツ コンサルティング合同会社 パブリックセクター)
E-mail:ld-tech@tohmatu.co.jp